

Kotozna株式会社



- 所在地：日本
- 従業員： 25名
- 会社設立年： 2016年
- 事業内容：多言語コミュニケーションサービスの開発

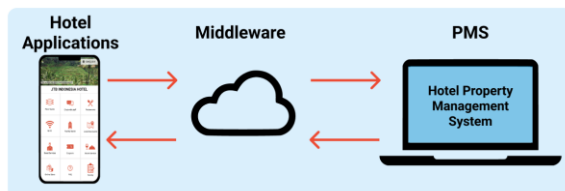
<https://kotozna.com/>

プロジェクト名

- インドネシアの宿泊事業者向けホテル管理システム(PMS)／ホテル業務アプリ間データ連携共通化実証事業

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー
 - ・ Artotel Group：ホスピタリティ事業（インドネシア）
 - ・ JTB Pte Ltd／JTBアジア・パシフィック
- 協力・連携の内容
 - ・ Artotel Group：データ連携実証実験の場の提供
 - ・ JTB Pte Ltd／JTBアジア・パシフィック：本事業のPOCとしてASEAN地域で可能なホテルの紹介



現地の経済・社会課題

- アフターコロナに向け宿泊施設での人手不足が顕在化し生産性向上が喫緊の課題
- 仕様の異なるPMS乱立のためAPI共通化の欠如
- 多様化するホテル業務アプリとPMS連携不足がホテル業務の生産性向上を阻害

実証内容

- 乱立するPMSのAPIを標準化するミドルウェアの開発することにより、PMSと業務システムの連携の難易度を大幅に低減する
- 小規模なミドルウェアを構築した上で、多様なPMS／ホテル業務アプリに横展開
- 日本国内において当社は2022年にJTB社と協働でPMS連携用のミドルウェアを開発し、複数のPMSと連携する実証実験の実績があるため、インドネシアの特性に合わせたシステム開発が可能

期待される裨益効果

- ホテル業務の生産性が向上
- PMS／ホテル業務アプリ開発の生産性向上
- 宿泊客に対するサービス向上
- ASEAN全域のホテル・観光事業者への横展開・販売展開が可能